Japan Quality since1968

OHTAKE

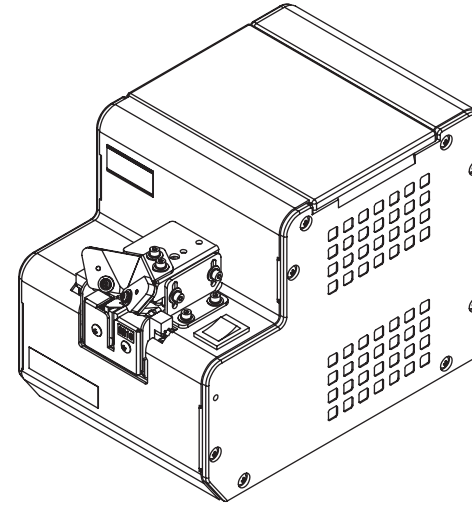
Automatic Screw Feeder

自動ネジ供給機

NSB² タイプ

取扱説明書（メンテナンス編）

・ご使用の前に、この説明書をよく読んでお使いください。
・お読みになったあとは、いつでも見られるところに
大切に保管してください。



NSB2MA01 M

ATTENTION：www.ohtake-root.co.jp　is the only web site associated with our company.
We do not have any branches in China.

各位顾客请注意！：「www.ohtake-root.co.jp 是敝司唯一的官方网站，
目前，敝司在中国没有办事处与所谓的中国官网。」

注意！：www.ohtake-root.co.jp が当社唯一の HP アドレスです。
弊社の名を騙る偽サイトにご注意下さい。現在、当社は中国国内に支店はございません。

目　次

1）　ご使用の前に …… 2
2）　使用上の注意 …… 2
3）　各部の名称 …… 3
4）　使用前の確認および調整 …… 4
5）　使用方法 ……12
6）　消耗部品の交換方法 ……13
7）　その他 ……13
8）　修理を依頼する前に ……18
9）　主な仕様 ……23
10）　外観図 ……25
11）　保証規定 ……26

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり
機械の破損などが起こることがあります。

1）ご使用の前に

この度は自動ネジ供給機『NSB²シリーズ』をお求め頂き、誠にありがとうございます。

ご使用する前に下記付属品の確認をお願い致します。

＊ 取り扱い説明書　1部　　＊ 通過窓　2 枚（1 枚は本体に取付済）

＊ ACアダプター　1ケ　　＊ 0.35mm ゲージ板 （押さえ板調整用） 1 枚

＊ 六角レンチ　1ケ　　＊ ドライバー　1ケ

2）使用上の注意

・設置場所

⚠ 注意　設置場所は水平で安定した場所にして下さい。不安定な場所に設置すると、落としたりケガの原因になります。

⚠ 注意　可燃性、爆発性のガスまたは湿気のある場所では、本機を動作させないで下さい。

・ACアダプター

⚠ 付属の AC アダプター以外は使用しないで下さい。火災・感電の原因になる場合があります。

・レール

レールにキズや油を付けないで下さい。

・使用してはいけない「ネジ」

規格以外のネジ、油やゴミなどが付着しているネジは使用しないで下さい。

・「ネジ」取り出し時の注意

⚠ 注意　ネジを取り出すときに過度な力、衝撃的な力は与えないで下さい。故障やケガの原因になります。

・終業時と長時間使用しない場合

⚠ 注意　終業時と長時間使用しない場合はACアダプターをコンセントから抜いて下さい。

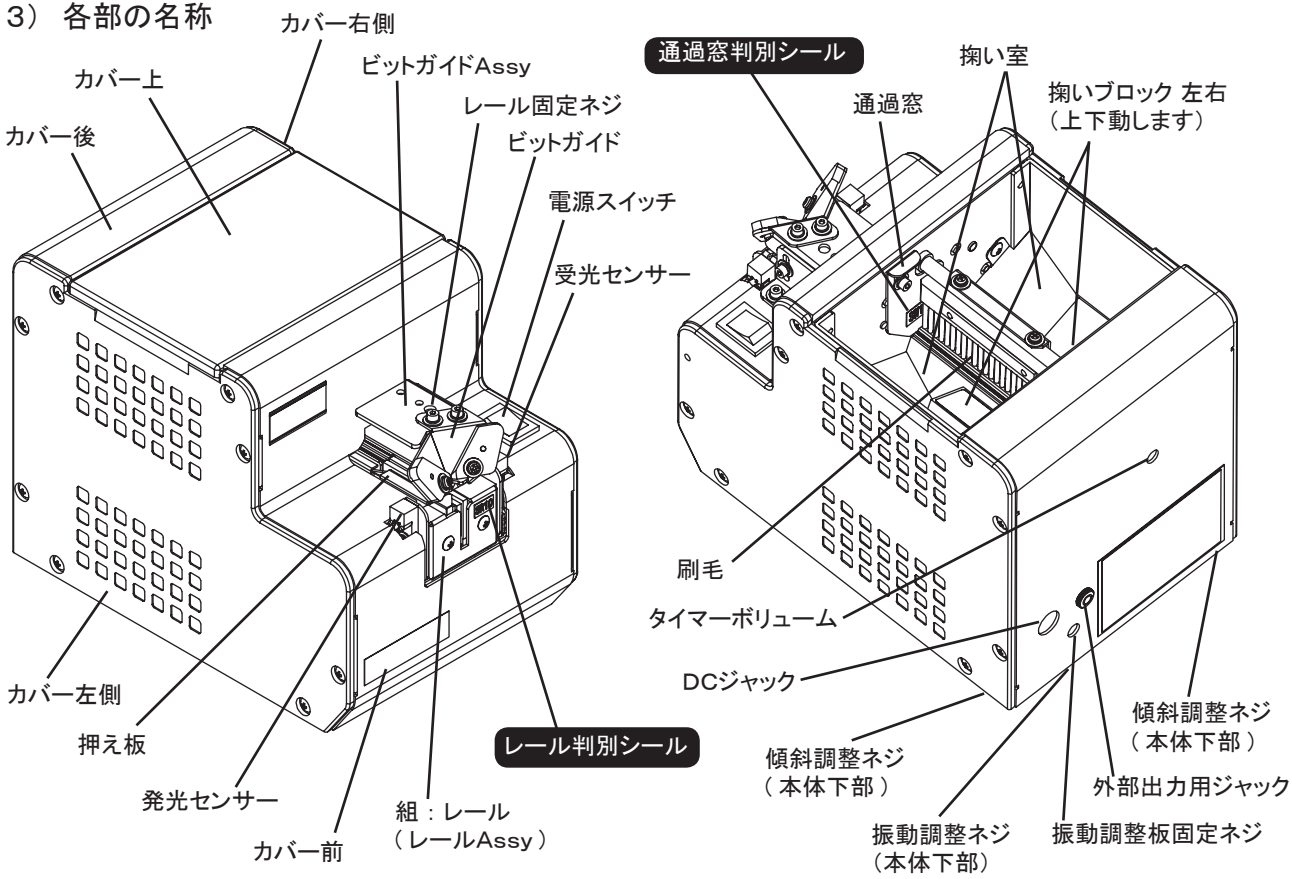
・異物の混入

⚠ 注意　本機の動作中に異常がある場合は電源スイッチをOFFにしてACアダプターをコンセントから抜いて下さい。
異常のまま使用しますと火災、感電、ケガの原因になります。異常の際は販売店にご連絡下さい。

・本機の分解、改造はしないで下さい

⚠ 本機の修理は販売店にご相談下さい。

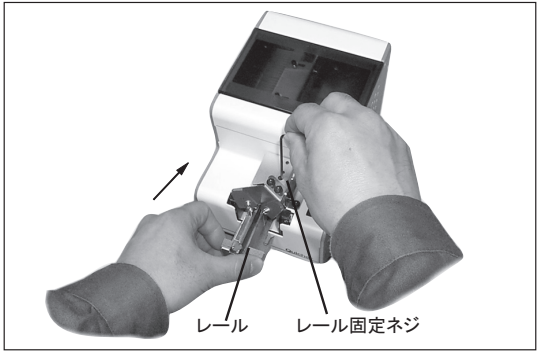
3） 各部の名称


カバー右側
ビットガイドAssy
カバー上
レール固定ネジ
カバー後
ビットガイド
電源スイッチ
受光センサー
カバー左側
押え板
発光センサー
カバー前
組：レール
（レールAssy）
レール判別シール
通過窓判別シール
掬い室
通過窓
掬いブロック 左右
（上下動します）
刷毛
タイマーボリューム
DCジャック
傾斜調整ネジ
（本体下部）
傾斜調整ネジ
（本体下部）
外部出力用ジャック
振動調整ネジ
（本体下部）
振動調整板固定ネジ

4）使用前の確認及び調整

使用前に使用するネジに合った部品が本体についているかを確認して下さい。
レールはφ 1.0 ～φ 3.0 で呼び径ごとに違います。レール前カバーに貼ってあるレール判別シールで判別します。
通過窓はφ 1.0 ～φ 1.7 用とφ 2.0 ～ φ3.0 用の 2 種類有ります。通過窓に貼ってある通過窓判別シールで判別します。

本体種類	本体型式	ネジの呼び	レール型番	通過窓型番
NSB²	NSB²–10	φ 1.0	SR10	SW1017
	NSB²–12	φ 1.2	SR12	
	NSB²–14	φ 1.4	SR14	
	NSB²–17	φ 1.7	SR17	
	NSB²–20	φ 2.0	SR20	SW2030
	NSB²–23	φ 2.3	SR23	
	NSB²–26	φ 2.6	SR26	
	NSB²–30	φ 3.0	SR30	



◆ レールが本体に装着していない場合は本体にレールを取付けます
- 最初にレール固定ネジを緩めて下さい。
- 次にレールを突き当たりまで挿し込んで下さい。
- 最後にレール固定ネジを締めます。

⚠ネジ投入量について

ネジを多く入れすぎると、ネジの整列と搬送に悪い影響がでます。
右図を参考としてネジを掬い室に投入して下さい。
- 掬いブロックを最下限状態にします。
- レール溝面から約2～3mm低い位置までネジを投入して下さい。
- このとき、傾斜坂の前方傾斜面が投入したネジで隠れないことを確認して下さい。

◆ 刷毛の確認・調整

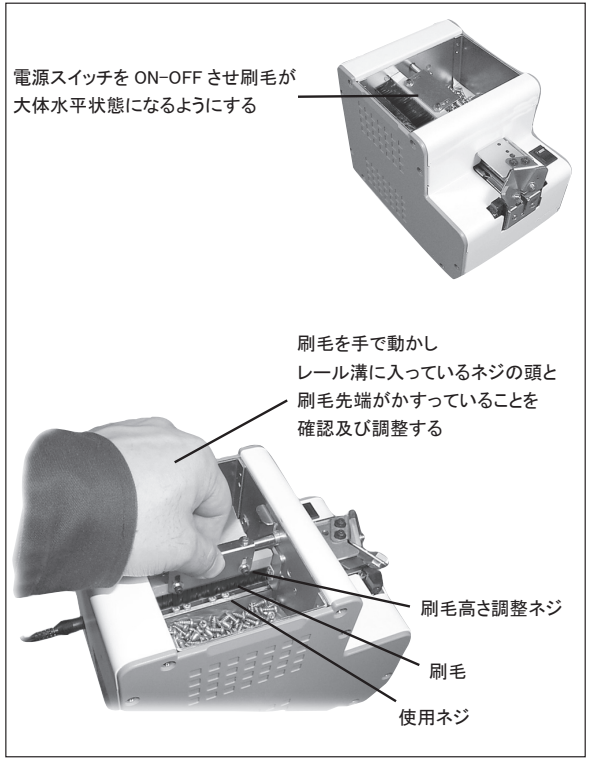
刷毛の高さを確認します。

・右図のように刷毛を水平状態にします。

・レール溝にネジを入れ、ネジの頭と刷毛先端が かすっている ことを確認します。

・刷毛の高さが低すぎても高すぎてもネジの整列と搬送に悪い影響がでます。

・調整が必要な場合は 、刷毛高さ調整ネジを緩め、調整して下さい。



◆ 押さえ板の確認・調整

押さえ板の位置を確認します。

・レール溝に入った使用ネジの頭と押さえ板との隙間が約 0.2 ～1mmになっていることを確認します。

・隙間がないとネジが引っ掛かります。隙間が大きすぎると、ネジの重なりやネジの飛びだしがおこります。

・調整が必要な場合は、ビットガイドブラケット取付けネジを緩め、上下に調整して下さい。

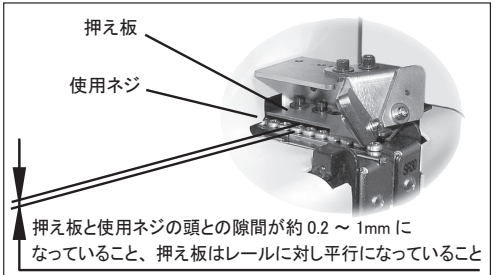
・付属品の 0.35mm ゲージ板を使用した簡単な調節方法

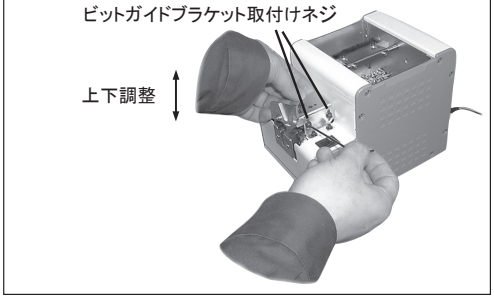
ビットガイドブラケット取付けネジを緩め、レール上の使用ネジと押さえ板の間に先端よりゲージを差し込み、押さえ板をゲージに前後均等に触れさせたままビットガイドブラケット取付けネジを締め、ゲージを抜きます。

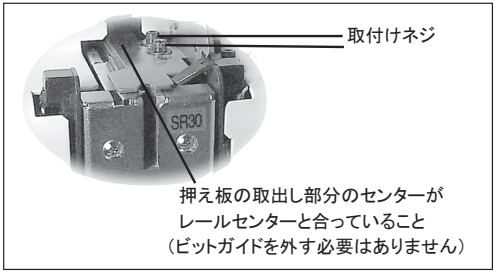
注意　取出し部のセンター合わせについて

・押さえ板の取出し部センターがレールセンターと合っていることを確認して下さい。

・合っていないときは、取付けネジを緩め、調整して下さい。







◆ 通過窓の確認・調整

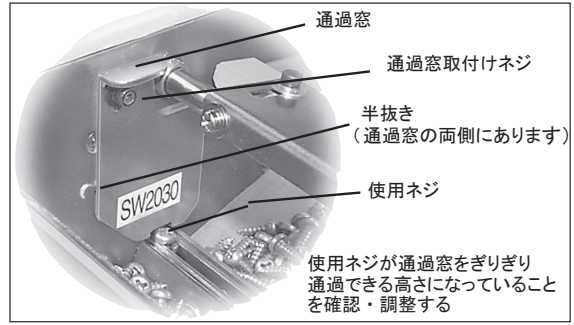
通過窓の高さを確認します。

・使用ネジがぎりぎり通過する高さに通過窓が調整されていることを確認します。

・通過窓が低いとネジが通過できず、また通過窓が高すぎるとネジが引っ掛かりやすくなります。

・調整が必要な場合は通過窓取付けネジを緩め、調整して下さい。

注）通過窓両側の半抜きをガイドにして、上下にスライドさせます。

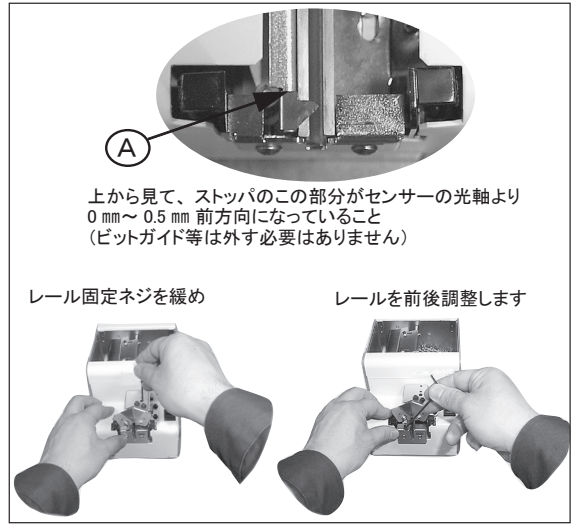


◆ レールの確認・調整

ストッパーとセンサーの位置関係を確認します。

・ストッパー A 部分がセンサー光軸より 0 ～ 0.5 mm前方になるようにレールが固定されていることを確認します。

・調整が必要な場合はレール固定ネジを緩め、前後に調整して下さい。



◆　ビットガイドの確認・調整

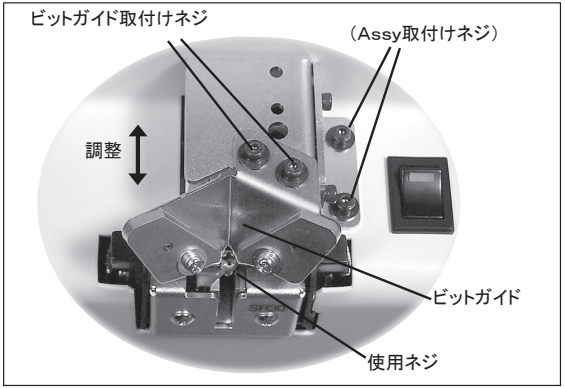
ビットガイドの位置を確認・調整します。

・ビットガイドは使用者がネジを取り易い位置に調整します。

・何度か、ネジを実際に取出して確認します。

・調整は取付けネジを緩めて行って下さい。

注）レールは前頁のように、センサーとの位置関係で調整を行っています。基本的に このときはレールの調整はしません。



◆　ガイド左右の確認・調整

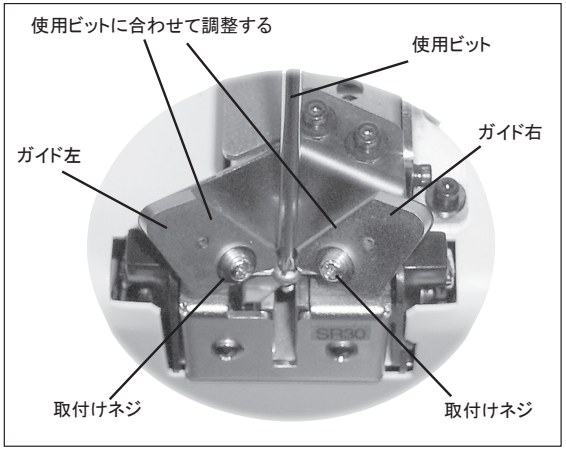
ガイド左右の位置を確認・調整します。

初期状態ではガイドの溝が 約3mm になっています。

使用ビットでネジが取出しにくいときに調整します。

・取付けネジを緩め、使用ビットを間に入れて調整します。

・調整後、使用ビットでスムースにネジを取出せることを確認して下さい。

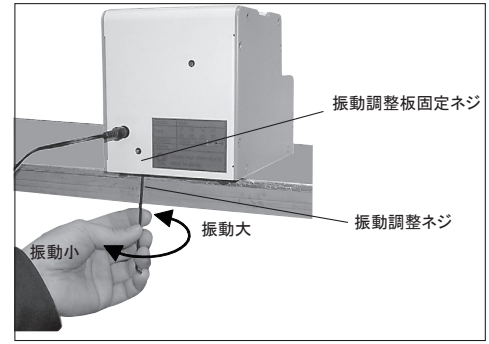


◆ レールの振動の確認・調整

ネジの種類によってネジの搬送スピードが異なります。
本機はレールの振幅を変更し、搬送スピードを調整できます。

・本機下部の振動調整ネジで振幅を変更し、搬送スピードを調整できます。
・本機後部の振動調整板固定ネジを緩め、本機下部の振動調整ネジを回して振幅調整をします。

底面から見て
時計方向に回すと 振幅大
反時計方向に回すと 振幅小となります。

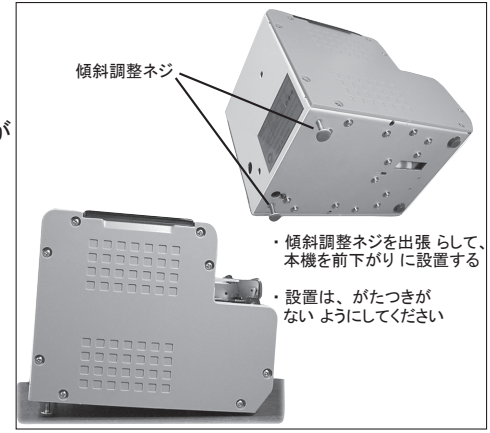


・搬送スピードを早くするために振幅を大きくしすぎると、ネジの取出しがしにくくなる場合がありますので、使用ネジに合った適当な振幅に調整して下さい。
・調節後は必ず振動調整板固定ネジを締めて下さい。

◆ 傾斜調整ネジの確認・調整

本機の設置は水平設置が基本です。
ただし、使用するネジの種類によっては、ネジの流れがスムースでない場合があります。その際は前記『レール振動の確認・調整』と合わせて、本機を前下がりの傾斜に調整して下さい。

・本機下部の傾斜調整ネジで調整します。
・2ヶの傾斜調整ネジを同じ出張り量にして、本機を設置した時にがたつきがないようにして下さい。
・傾斜調整ネジには抜け止めがありません。本機から外して なくさないように注意して下さい。
・調整後、動作を確認をして下さい。



◆　センサーの光軸確認

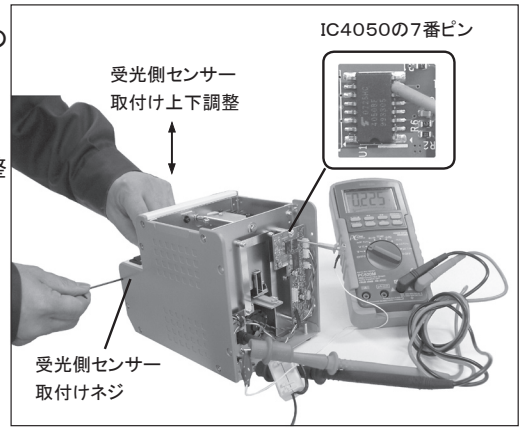
ストッパ部分にネジが無いときに本機は動作し続け、ネジが有るときに一定時間（タイマー設定時間）経過後、動作停止します。

本機は出荷時に基準レールでネジ有無センサーのレベル調整をしていますので、ほとんどのネジはそのまま対応します。但し、ネジ頭の薄いネジの使用や、レール交換時のばらつき発生などのため、動作が停止しないときは、センサーのレベル調整が必要です。その時は（1）又は（2）の様な調整をして下さい。

（1）・センサーホルダーを指でつまんで動かせる程度に受光側センサー取付けネジを緩め、電源スイッチをONにします。
・使用ネジをレール溝部のセンサー光軸上に置くか、センサー光軸上まで流してきます。
・レール前面を振動しない（ネジが流れてこない）程度に軽く指で押えます。
・センサーホルダーを上下させると、受光センサーがネジ頭をとらえ、レールの振動が停止する位置が有り、この位置で受光側センサー取付けネジを固定します。
・実際に使用ネジを取出し、次のネジが送り出され、停止することを確認します。

（2）・本体カバー後を外し、電圧レベルを測定します。IC4050 の 7 番ピンの電圧レベルを確認します。 測定時のグランドは本体金属部分です。
・使用レールを入れ、ストッパ部分にネジが無いときに電圧レベルが 0.25 ～ 1.5V の中に入っていれば調整は不要です。
・調整が必要な場合は、受光側センサー取付けネジを緩め、上下調整電圧レベルを合わせます。
（このときメインモーターのコネクタを外すと調整しやすい）
・調整後、実際にネジを使用し、動作確認して下さい。

注）使用ネジがない時 0.25V ～ 1.5V
ある時 3.5V 以上　を目安にします。



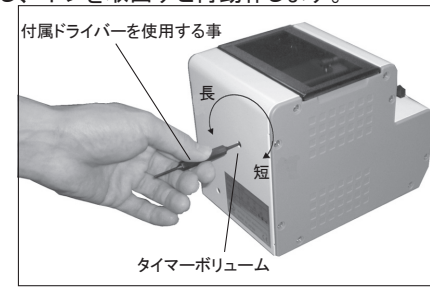
◆ タイマー調整および確認

ネジの種類によってネジの搬送スピードが異なります。本機はタイマー調整によってネジの取出しをスムーズにすることができます。

・ストッパ部分のネジを取出し、次のネジを一定時間取出さないと、本機は停止し、ネジを取出すと再動作します。
この時間をタイマー調整によって1～6秒まで可変できます。

・右図のように機体後部のタイマーボリュームで調整します。
後部から見て　　時計方向に回すと時間が短く
反時計方向に回すと時間が長くなります。

・調整時には無理な力をかけず、回転可能範囲で調整して下さい。



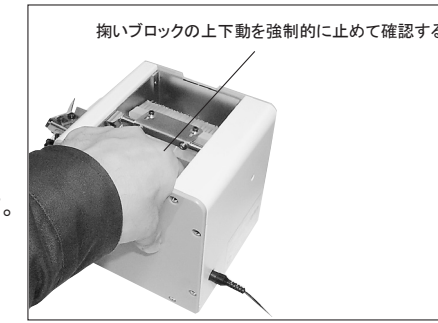
⚠注意　付属のドライバーをお使い下さい。
付属品以外のドライバーを使用すると、基板破損の原因になります。

◆ 過負荷保護回路の動作確認

過負荷検出および保護回路のチェックは、掬いブロックの上下動作を強制的に止めて動作を確認します。

掬いブロックの上下動を強制的に止めて過負荷にした場合、上下動時に
連続5回未満で過負荷を検出しなくなれば、動作し続けます。
連続5回の過負荷を検出をすると、メインモーターへの電源供給を停止します。

過負荷保護による停止を解除するためには電源スイッチを再投入します。



5） 使用方法

◆ ネジの投入（P4参照）

・カバー上を取去ります。

掬いブロックが下方に下がりきった状態でレール上面から 2 ～ 3 mm低い位置までネジを投入して下さい。

・このとき傾斜坂の前方傾斜面が、投入したネジでかくれないことを確認して下さい。

⚠注意　ネジを入れすぎると動作しなかったり、故障の原因になりますので ご注意下さい。

◆ 電源投入

・付属の AC アダプターを本機と電源コンセントに差し込んで下さい。

・電源スイッチを ON にします。このとき電源スイッチのランプが点灯します。

・掬いブロックの上下動とレールの前後動が開始します。

・しばらくすると取出し方向にネジが順次送られます。

ストッパ部のネジを取出さないとセンサーが感知し、本機の動作は停止します。

・ストッパ部のネジを取出すとセンサーが感知し、本機は再び動作します。

◆ ネジの取出し

・ネジの取出しには、ネジ径および押さえ板の溝幅に合ったビットをお使い下さい。

・電動ドライバーのビットを垂直にし、ビットガイドの V 溝に沿ってビットを回転させながら垂直方向に降ろし、ネジ頭の十字穴にビットがかみ合ったら前方に水平に引出して下さい。

⚠注意　このとき必要以上の力をレールに与えないで下さい。
故障の原因になります。

◆ タイマー設定について（P11参照）

・ストッパ部のネジを取出し、次のネジを一定時間取出さないと本機は動作を停止し、ネジを取出すと再動作します。

・本機が停止するまでの時間は、1秒～6秒の間で調整できるようになっています。調整方法はP11の要領で行って下さい。

6） 消耗部品の交換方法

◆ 刷毛の交換

・刷毛の毛先が磨耗して異常姿勢のネジを刷き取れなくなったら新しい刷毛と交換します。

・本体の電源スイッチを ON-OFF して刷毛を右図のような位置にします。（刷毛 Assy 取付けネジを外しやすい位置にします）

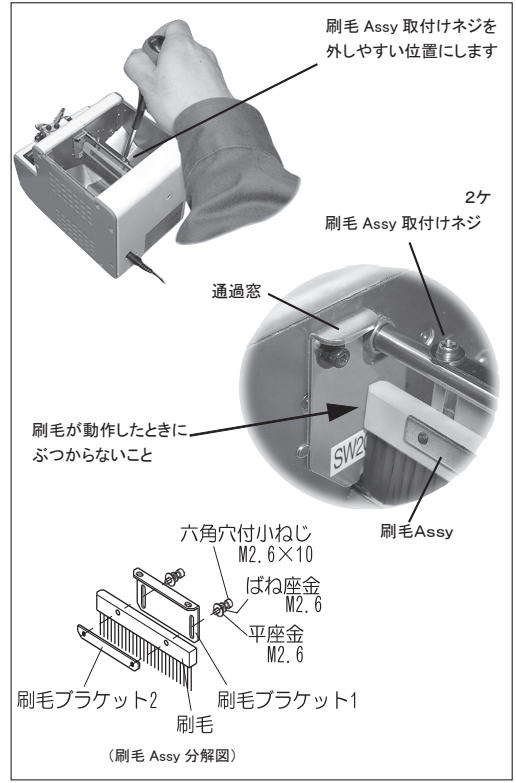
・組立後、刷毛 Assy が動作したときに、刷毛と通過窓がぶつからないか確認します。隙間はできるだけ少ないほうが良いです。

・取付確認は『使用前の確認および調整』を参照して下さい。

刷毛の型番

NSB02053 #01 ⇒ 標準装着品 （標準）

NSB02053 #02 ⇒ オプション （硬め）



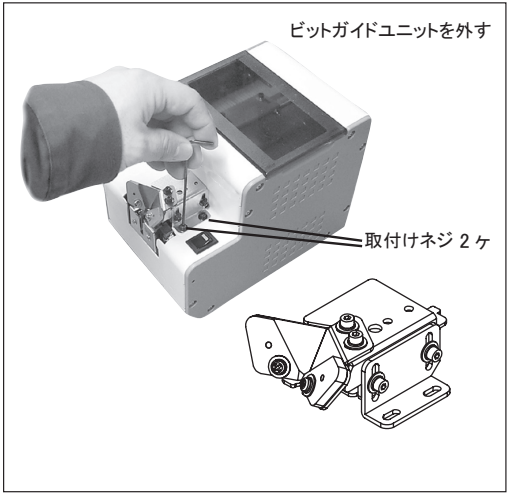
（刷毛 Assy 分解図）

◆ ビットガイドユニットの交換

押さえ板が磨耗した場合など、使用上で支障がある場合は
ビットガイドユニットごと交換します。

・右図のように取付ネジを外し、ビットガイドユニットを交換します。
・取付け調整は『使用前の確認および調整』を参照して下さい。

ビットガイドユニットの型番
NSB06003

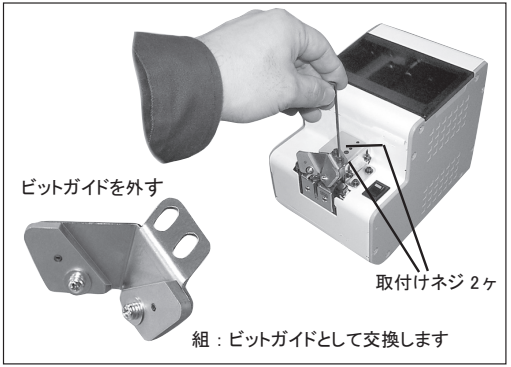


◆ 組：ビットガイドの交換

ビットガイドが磨耗した場合など、使用上で支障がある場合に交換します。

・右図の様に取付けネジを外して交換します。
・取付け調整は『使用前の確認および調整』を参照して下さい。

組：ビットガイドの型番
NSB06002



◆ ストッパの交換

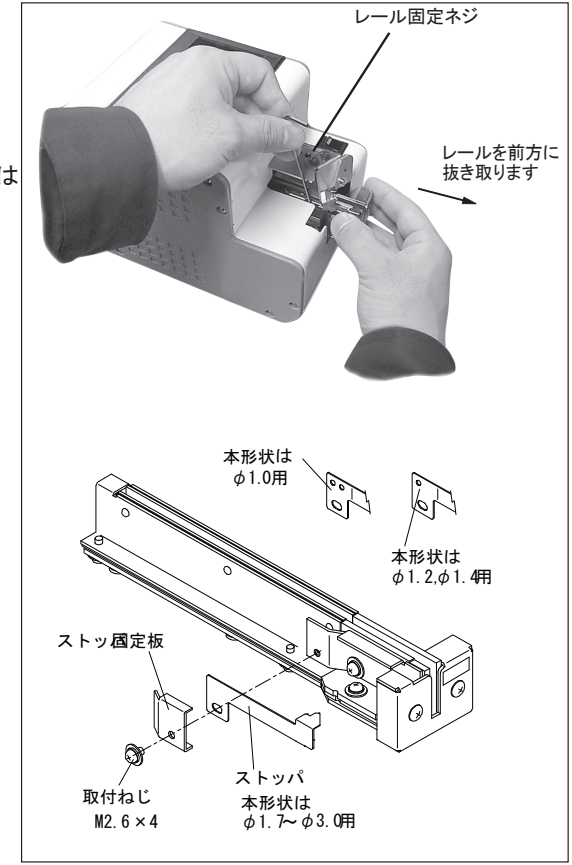
ストッパが磨耗した場合や、使用上で支障がある場合に交換します。

・右図のように、レール固定ネジを緩めてレールを本体から抜き取り交換できます。
・レール呼びにより、ストッパは3種類に分かれますので、取付の際はご注意下さい。

取付け部分の穴で種類を判別します。
ストッパを購入の際は、レールの呼び径をご指定下さい。

ストッパの型番

φ1.0用	⇒	NSB05113
φ1.2及びφ1.4用	⇒	NSB05114
φ1.7～φ3.0用	⇒	NSB05115

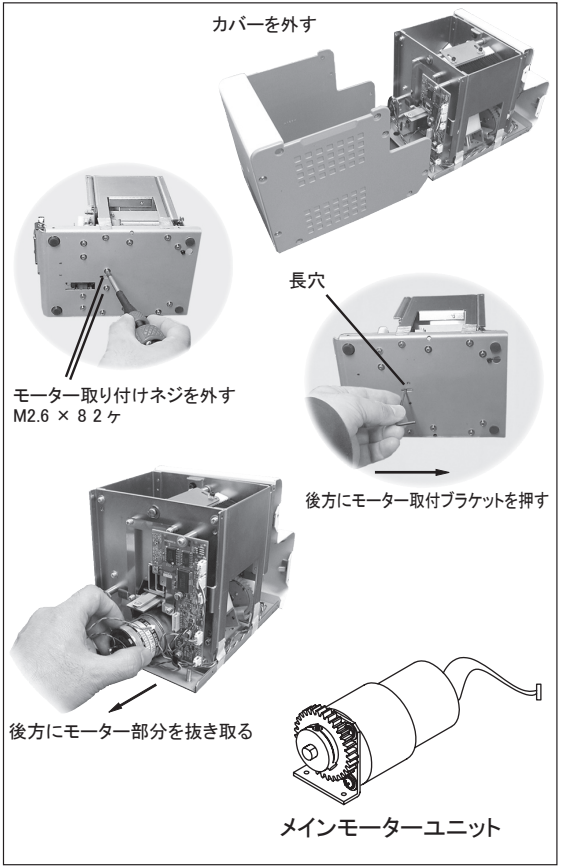


◆ メインモーターの交換

モーターが損傷したときに交換します。

・カバーを本体から外します。（このとき、右図のようにカバー取付ネジは後部の4ケを残して外した方がよい）
・モーターコネクタを外します。
・本体底面のモーター取付ネジを外します。
・モーター部分を本体後部から抜き取ります。
（このときモーターを抜き取りにくい場合は 、本体ベースの長穴に六角レンチなどを差し込み 、モーター取付ブラケットを後方に押して下さい）

注意）モーターの配線に過度の力を加えて断線させないようにして下さい。



モーター交換時の動作タイミングについて

掬いブロックと刷毛の動作タイミングを合わせるためには、ギアの噛合わせを合わせる必要があります。
本体からモーター部分のみ取外した場合は、右図のようなタイミングでモーター部分を再組立すると、動作タイミングを合わせることができます。

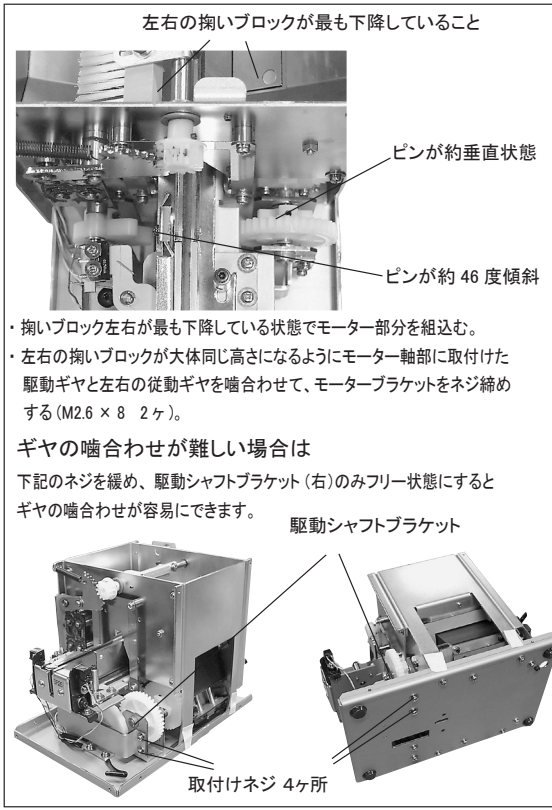
モーター部分の駆動ギアと左右の従動ギアを噛合わせにくいときは右の駆動シャフトブラケットの取付を緩めると、組立が容易にできます。（右図参照）

但し、モーター部分を組付けた後は必ず緩めたネジを再締付して下さい。組付け後、モーターに通電し動作タイミングを確認して下さい。（左右の掬いブロックがほぼ同時に上下動すること）

動作確認後、配線取り回しは、元の状態に戻して下さい。（カバー組付け時に線をはさまない様にして下さい）

注意）モーターの配線に過度の力を加えて断線させないようにして下さい。

メインモーターユニットの型番
NSB03056



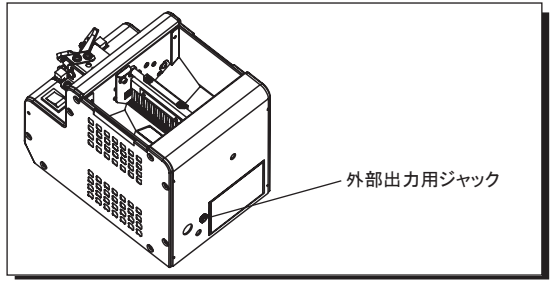
6）その他

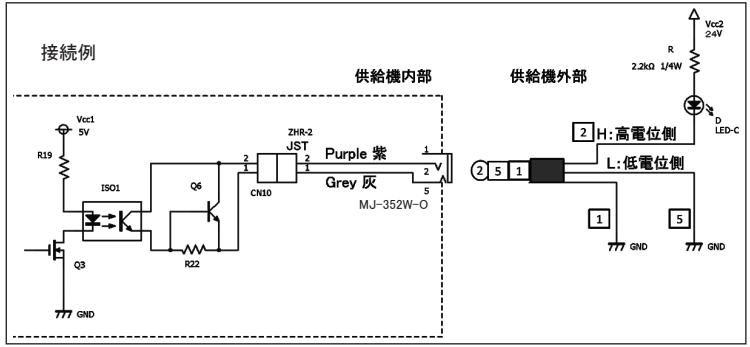
◆ 外部出力について

本体後部にあるジャックより、ネジ取り出しの信号を取出せます。
汎用カウンター等との接続にご利用ください。

［仕様］ネジ取出し時　　ON（約 0.2 秒間）
　　吸込み電流　　max 100mA 以下になるように
　　固定抵抗等で電流制限をかけてください。
［定格］直流電流　　max 100mA
　　外部印加電圧　　5 ～ 24VDC（max27VDC）

［注意］プラグは φ 3.5-3 極小形単頭プラグをご使用ください。
　　推奨プラグ：　　マル信無線電機（株）
　　MP-019LC（ストレートタイプ）
　　MP-012LN（直角タイプ）
　　推奨プラグ・ジャック付ケーブル：
　　マル信無線電機（株）
　　SC420S-2M-RS





7） 修理を依頼する前に

⚠注意　症状に対し処理を施す場合は、必ず電源スイッチを OFF にして作業をして下さい。

症状	原因	処理
7－1 電源スイッチを入れても動かない	・電源が供給されていない	・AC アダプターの電源接続確認
	・ストッパ部のネジを一定時間取出していない	・ストッパ部のネジを取出す ・タイマーボリュームを調整する（P11参照）
	・掬い室にネジを入れすぎた	・掬い室のネジ量を適量にする（P4参照）
	・本体内部に異物（ネジ等）が入ったため	・異物を取除く
	・AC アダプターの故障	・サービス対応
7－2 ネジが流れてこない	・レールAssyの規定呼び径より大きい呼びのネジを入れた又は異径のネジが混入していた	・使用ネジに対応したレールを使用する ・規定呼び径のネジを使用する ・混入ネジを除去する
	・掬い室のネジの量が少なくなっている	・掬い室にネジを適量入れる （P4参照）
	・通過窓部分の異常姿勢のネジが刷毛で刷ききれない	・刷毛の調整をする（P5参照） ・通過窓の調整をする（P7参照） ・掬い室にネジを適量入れると良くなることがあります（P4参照）

症状	原因	処理
7－2 ネジが流れてこない	・通過窓にネジの軸部が入り込んだ	・異常なネジを取除く その後、通過窓の調整をする（P7参照）
	・レール途中でネジが異常姿勢で止まっている	・異常姿勢のネジを取除く 取除く方法は下記の通り ビットガイドAssy固定ネジを緩めます ビットガイドを上方向に移動させます 本機を傾けて異常姿勢のネジをレール先端から取除きます その後、押さえ板の調整をします（P6参照）
	・レールが前後動していない （隙間にネジがはさまっている）	・隙間にはさまっているネジを取除く はさまっていないときはサービス対応
7－3 ネジがレールの溝に落込んだ	・レールAssyの規定呼び径より小さい呼びのネジを入れた	・使用ネジに対応したレールAssyを使用する ・規定呼び径のネジを使用する
	・レール溝幅より短い全長のネジを入れた	・対応不能

症状	原因	処理
7－4 レール上のネジの流れが悪い	・押さえ板と使用ネジ頭との隙間が狭い	・ビットガイドAssyの調整をする（P6参照） （押さえ板の調整をする）
	・レールAssyの規定呼び径より1サイズ小さい呼び径のばね座金付ネジを入れた	・振幅を調整して使用してみる（P9参照） ・本機を傾けて使用してみる（P9参照） ・上記でも使用不可能の場合は別途ご相談を受けます
	・レールにゴミ、油類が付着した	・レール、レールガイドの清掃
	・レールが前後動していない （隙間にネジがはさまっている）	・隙間にはさまっているネジを取除く ネジがはさまっていない時はサービス対応
	・モーターの消耗	・モーター交換
7－5 ネジが異常姿勢で通過窓を通過しやすい	・通過窓の調整不良	・通過窓の調整をする（P7参照）
通過窓にネジ軸部が入やすい	・掬い室のネジが多すぎる	・ネジを適量にする（P4参照）

症状	原因	処理
7－6 ネジがビットガイドの所定取出し部にこない	・レール途中でネジが止まっている ・レールAssyの前後調整不備	・ビットガイドAssyの調整をする（P6参照） （押さえ板の調整をする） ・レールAssyの前後調整をする（P7参照）
7－7 ネジ頭の十字溝にビットが合いにくい	・前後の位置が合っていない ・左右の位置が合っていない	・レールAssyの前後調整をする（P7参照） ・ビットガイド、押さえ板の調整をする （P8参照）
7－8 本機の動きが急に止まる	・過負荷のため、過電流保護回路が働いた ・掬い室のネジが多すぎる ・ネジが隙間にはさまっている ・ストッパ部のネジを一定時間取出さなかった	・再度電源スイッチを入れ直す（P11参照） ・掬い室のネジを適量にする（P4参照） ・ネジが適量で止まる場合はサービス対応 ・はさまったネジを取除く ・ストッパ部のネジを取出す

症状	原因	処理
7－9 本機内部にネジが落ちた		・機体裏の穴からネジを振落とす
7－10 ストッパ部にネジがあるのに 動作が止まらない	・レールとセンサーの位置ずれ ・位置が合っている場合	・レールAssyを前後に動かし動作が止まる 位置で調整をする（P7参照） ・センサーの高さを調整をする（P10参照）
7－11 ストッパ部のネジを取出しても 次の動作をしない	・センサー調整不備 ・センサーの断線	・センサーの上下調整をする（P10参照） ・半田付けで固定する ・センサーAssyの交換
7－12 本機の音が大きくなってきた	・グリス切れ	・駆動部にグリスを塗る 推奨品 ﾀﾞｳｺｰﾆﾝｸﾞｱｼﾞｱ（株） 製品名：BR2plus

8） 主な仕様

専用 アダプタ （ｽｲｯﾁﾝｸﾞﾀｲﾌﾟ）	入力：AC100～240V 50/60Hz 出力：DC15V
寸法	123（W） × 181（D） × 145（H）（mm）
重量	約2．9Kg （レール含む）
掬い室容量	80cc
添付品	取扱説明書 1部 ACアダプター 1ケ 通過板 1枚（本体取付済とサイズが違うもの）） 六角レンチ 1ケ 調整用ドライバー 1ケ 0.35mmゲージ板 1枚

［注意］
- 旧タイプ NSB シリーズの AC アダプタは使用できません。
- 使用ネジの軸径が下記表に適合するか確認してください。
- 適合範囲であっても、ネジの形状、長さのバランスによっては使用できない場合もございます。
- 使用ネジの呼びを変更する場合は、次ページ表に対応した部品に交換してください。
- 交換用のレールは別売品となります。
- 改良のため、予告なくデザイン、性能、仕様等を変更することがあります。

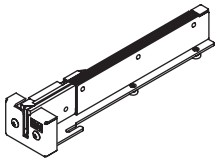
使用可能ネジの目安					ネジの頭部形状						
					なべ頭						
使用ネジの呼び	ネジ軸部径（φ）	ネジ頭部径（φ）	ネジ頭部厚み(mm)	ネジ首下長さ範囲(mm)	ｾﾑｽ	ﾀﾞﾌﾞﾙ ｾﾑｽ	ﾜｯｼｬｰ ﾍｯﾄﾞ	ﾊﾞｲﾝﾄﾞ	平	皿	六角 ﾌﾗﾝｼﾞ付
φ 1.0	0.9～0.95	1.2～4.5	0.35～1.0	1.6～10					○		
φ 1.2	1.1～1.15	1.4～4.5	0.35～1.0	1.8～10					○		
φ 1.4	1.3～1.4	1.7～4.5	0.35～1.0	2.0～10					○		
φ 1.7	1.6～1.7	2.0～4.5	0.35～1.0	2.3～10					○		
φ 2.0	1.9～2.1	2.4～6	0.35～4.5	2.6～20	○	○	○	○	○	○	○
φ 2.3	2.2～2.4	2.7～6	0.35～4.5	2.9～20	○	○	○	○	○	○	○
φ 2.6	2.5～2.7	3.0～6	0.35～4.5	3.2～20	○	○	○	○	○	○	○
φ 3.0	2.9～3.2	3.5～6	0.35～4.5	3.6～20	○	○	○	○	○	○	○

※ ワッシャーの最大径 9mm、厚さ 0.35 ～ 1.0mm まで。

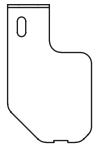
本体種類	本体型式	ネジの呼び	レール型番	通過窓型番
NSB^2	NSB^2–10	φ 1.0	SR10	SW1017
	NSB^2–12	φ 1.2	SR12	
	NSB^2–14	φ 1.4	SR14	
	NSB^2–17	φ 1.7	SR17	
	NSB^2–20	φ 2.0	SR20	SW2030
	NSB^2–23	φ 2.3	SR23	
	NSB^2–26	φ 2.6	SR26	
	NSB^2–30	φ 3.0	SR30	

○交換用部品

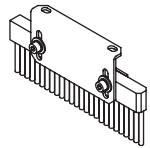
・レール



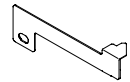
・通過窓



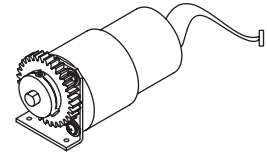
・刷毛 Assy
NSB02053 #01



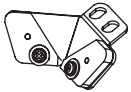
・ストッパ



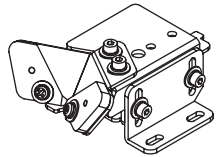
・メインモーターユニット
NSB03056



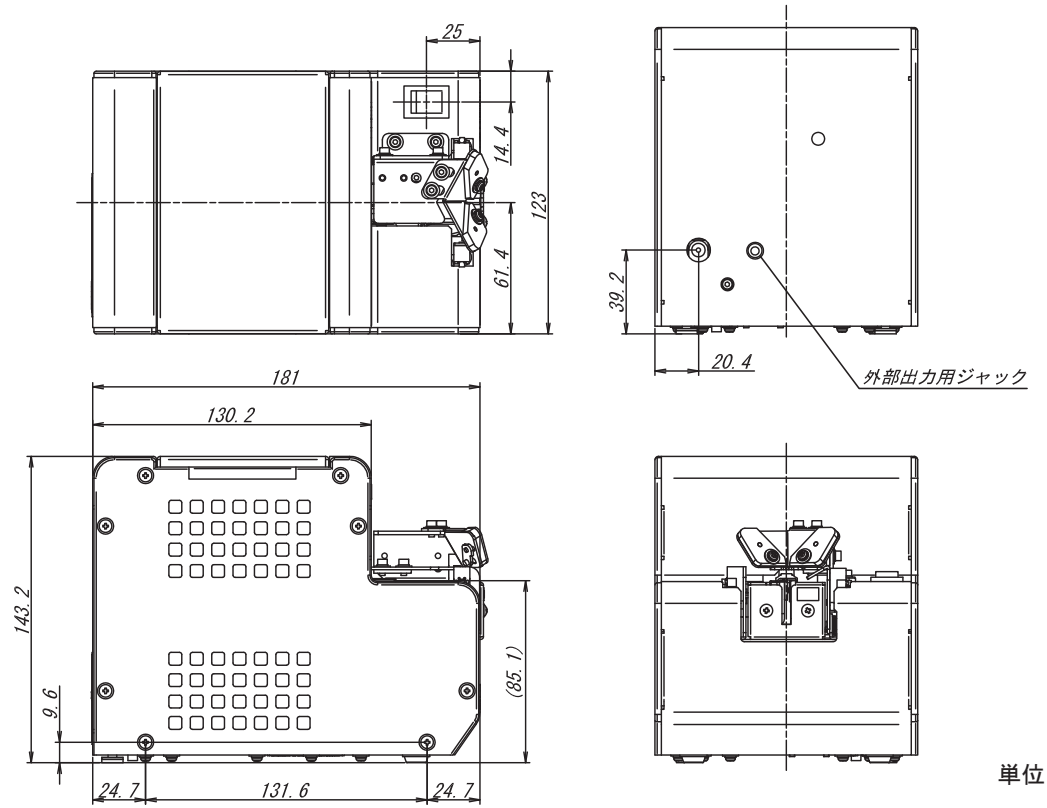
・組：ビットガイド
NSB06002



・ビットガイドユニット
NSB06003



9） 外観図


25
14.4
123
61.4
39.2
20.4
外部出力用ジャック
181
130.2
143.2
9.6
(85.1)
24.7
131.6
24.7

単位：mm

10） 保証規定

日本国内で使用する場合の有効保証期間は、納入後6ヵ月です。
日本国外での使用については保証対象外となります。
ご使用中万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売会社までご連絡下さい。
保証期間を経過した場合は有償修理とさせていただきますのでご了承ください。
ただし、下記の場合は保証期間に関わらず有償扱いとさせていただきます。

①不適切な取扱による故障
②製品の改造、不当な処理により発生した故障
③地震、火災などの不可抗力による故障
④故障の原因が本製品以外に起因するとき
⑤消耗部品（刷毛、メインモーター、ビットガイド、押え板、ストッパ）及び交換部品の部品代及び交換作業費

当社は、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後
原則として 5 年間保有しています。
この部品保有期間を経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので
お買い上げ店、またはサービス窓口にご相談下さい。

http://www.ohtake-root.co.jp

株式会社 大武・ルート工業
岩手県一関市萩荘字金ヶ崎 27 〒 021-0902
Tel +81-191-24-3144
Fax +81-191-24-3145

OHTAKE-ROOT KOGYO CO.,LTD.
27 Kanegasaki Hagisyou Ichinoseki
Iwate, 021-0902 JAPAN
Tel +81-191-24-3144
Fax +81-191-24-3145

「Quicher」「OHTAKE」「OHTAKE・ROOT KOGYO」is a trademark or registerd trademark of OHTAKE・ROOT KOGYO CO.,LTD.]
「Quicher(クイッチャー)」「OHTAKE」「OHTAKE・ROOT KOGYO」は、株式会社 大武・ルート工業の商標又は登録商標です。

The specification and the design of a product may be changed without a preliminary announcement for improvement.
改良のため、予告なくデザイン、性能、仕様等を変更することがあります。

Photocopy, reproduction or publication of any part of this user's manual without permission, is strictly prohibited by copyright law.
この取扱説明書の一部または全部の無断転載、複製を禁じます。
© Copyright OHTAKE・ROOT KOGYO CO.,LTD.

(as of November, 2014)
(2014 年 11 月現在)